

済生会中和病院 医師労働時間短縮計画

計画期間 令和8年4月～令和10年3月 （令和8年・9年度用）

対象医師 内科系 医師3名
外科系 医師2名

1. 労働時間と組織管理

（1）労働時間数

脳神経外科医師

年間の時間外・休日時間数	令和7年度実績	令和8年度目標	令和9年度目標
平均	52.2時間	50時間	50時間
最長	77.5時間	60時間	60時間
月60時間超の回数	1	1	1
年間960時間超	0	0	0

整形外科医師

年間の時間外・休日時間数	令和7年度実績	令和8年度目標	令和9年度目標
平均	51.3時間	50時間	50時間
最長	62.3時間	60時間	60時間
月60時間超の回数	3	2	2
年間960時間超	0	0	0

呼吸器内科医師

年間の時間外・休日時間数	令和7年度実績	令和8年度目標	令和9年度目標
平均	52.4時間	50時間	50時間
最長	74時間	60時間	60時間
月60時間超の回数	3	2	1
年間960時間超	0	0	0

消化器内科医師

年間の時間外・休日時間数	令和7年度実績	令和8年度目標	令和9年度目標
平均	46.3時間	50時間	50時間
最長	60.3時間	60時間	60時間
月60時間超の回数	1	1	0
年間960時間超	0	0	0

消化器内科医師

年間の時間外・休日時間数	令和7年度実績	令和8年度目標	令和9年度目標
平均	56.6時間	55時間	50時間
最長	74時間	65時間	60時間
月60時間超の回数	4	2	0
年間960時間超	0	0	0

(2) 労務管理・健康管理

【労働時間管理方法】

令和7年度実績	・ICカードによる勤怠管理と時間外労働時間の管理については所属長、部門長の決済のもと申請書にて管理した。
令和8年度取組目標	・衛生委員会で月1回長時間労働者の確認を行い、長時間労働者とその上司にはイエロー・レッドカードの注意喚起を行い長時間労働の削減を目指す。
令和9年度取組目標	上記事項に引き続き取り組む

【宿日直許可の有無を踏まえた時間管理】

令和7年度実績	・宿日直許可の有る宿日直に勤務した場合、救急対応業務等の通常業務にあたった時間については時間外労働勤務として管理した。
令和8年度取組目標	引き続き上記体制により救急医療に対応していく。
令和9年度取組目標	引き続き上記体制により救急医療に対応していく。

【医師の研鑽の労働時間該当性を明確にするための手続き等】

令和7年度実績	・自己研鑽か労働時間かの明確化については、労働時間に該当するものとし、しないものとに分けた項目別の表を作成しているので医局会等で説明会を開催して表を配布し、周知した。
令和8年度取組目標	上記事項に引き続き取り組み新入職医師への周知を徹底する。
令和9年度取組目標	上記事項に引き続き取り組む

【労使の話し合い、36協定の締結】

令和7年度実績	・毎月1回開催の衛生委員会での確認と労働者の過半数で組織する互助会の代表と協議し締結した。 ・労働基準監督所へ毎年8月に届け出を行い、職員へ周知した。
令和8年度取組目標	新入職医師への周知

令和9年度取組目標	上記事項に引き続き取り組む
-----------	---------------

【衛生委員会、産業医の活用、面接指導の実施体制】

令和7年度実績	・ 衛生委員会を月1回開催した。 ・ 健康診断を年2回実施した。 ・ 産業医を選任している。 ・ 長時間労働医師への面接指導の実施に係る研修、1名の医師に修了。 ・ 面接のフローチャートを作成して面接指導実施体制を確立した。
令和8年度取組目標	新入職医師への周知と面接指導件数を0件を目標とする。
令和9年度取組目標	上記事項に引き続き取り組む

【追加的健康確保措置の実施】

令和7年度実績	医師に対して説明会を開催して周知して勤務間インターバル9時間の確保を努力目標として取り組んだが、外科系の医師を中心に年間15名の医師が9時間を確保できない日が27日あった。
令和8年度取組目標	実態を医師へ周知して、年間10名、70日以内の目標数値を目指す。
令和9年度取組目標	上記事項に取り組む（達成時には新たな目標数値を設定）

（3）意識改革・啓発

【管理者マネジメント研修】

令和7年度実績	・ 勤務環境改善支援センター主催の研修会に病院長、看護部長、事務部長、人事部長が参加した。 ・ 民間のWEB研修に参加した。
令和8年度取組目標	引き続き医師の働き方改革関連の研修会に参加していく
令和9年度取組目標	上記事項に取り組む

（4）策定プロセス

【策定プロセス】

・ 長時間労働医師の該当する主任部長との意見交換や毎月開催している医師労働時間等設定改善委員会で検討して決定した。 ・ 策定後は医局やホームページに掲示して周知した

2. 労働時間短縮に向けた取り組み

（1）タスク・シフト/シェア

【看護師】

令和7年度実績	看護師正職員数を令和6年度266人に対して、7年度は279人と13名（4.8%）の増加
---------	---

令和8年度取組目標	特定行為看護師研修を受講する看護師を1名選任して、更なる医師の負担軽減を目指す。
令和9年度取組目標	上記事項に引き続き取り組む

【臨床工学技士】

令和7年度実績	1名の退職者があったので、欠員補充していく。
令和8年度実施予定	臨床工学技士の1名の採用を目指す。
令和9年度実施予定	上記事項に引き続き取り組む

【医師事務作業補助者】

令和7年度実績	1名増員して、更なる医師の負担軽減を行った。
令和8年度取組目標	ICTの活用を含め業務効率を高め、医師の負担軽減を目指す。
令和9年度取組目標	上記事項に引き続き取り組む

【医学物理士】

令和7年度実績	放射線治療棟におけるリニアックの操作について、技師への指導を継続中
令和8年度取組目標	高度治療棟の技師のスキルアップのためのアドバイス
令和9年度取組目標	上記事項に引き続き取り組む

(2) 医師の業務の見直し

【宿日直の体制、分担の見直し】

令和7年度実績	・健康管理上の観点から当直翌日の13時以降をフリーとしたが、各診療科で格差あり1人または2人配属の診療科では通常業務を遂行することが精いっぱいフリーとすることが困難 ・当直専用の臨時職員として採用した外科医が3名から1名減となった。
令和8年度取組目標	上記事項を引き続き取り組む
令和9年度取組目標	上記事項に引き続き取り組む

【副業・兼業を行う医師の労働時間の管理】

令和7年度実績	・各医師に副業・兼業先での時間外労働時間を月1回の提出を要請して管理体制を確立した。 ・衛生委員会での副業・兼業先での時間外労働時間を含むすべての時間外労働の確認
令和8年度取組目標	上記事項に引き続き取り組む
令和9年度取組目標	上記事項に引き続き取り組む

(3) その他の勤務環境改善

【ICTその他の設備投資】

令和7年度実績	・学会や研修会・会議等の参加は可能な限りオンライン参加とし、拘束時間の短縮を図っている。 ・脳神経外科においてオンライン上にて当直医の診療の補助を行っている。
令和8年度取組目標	上記事項を引き続き取り組む
令和9年度取組目標	上記事項に引き続き取り組む

【出産・子育て・介護など、仕事と家庭の両立支援】

令和7年度実績	・出産・育児・介護休業に関する規定の改正を行い、医師にも適用され育休取得者が1名あった。
令和8年度取組目標	上記事項を引き続き取り組む（短時間正職員制度や育休取得）
令和9年度取組目標	上記事項に引き続き取り組む